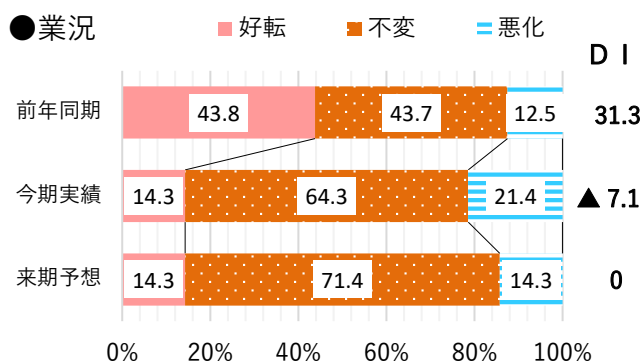


運輸・倉庫業

業況、売上、採算

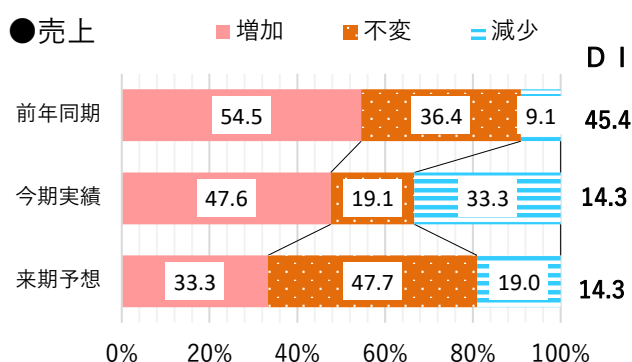
今期（2026.1～3）の業況DIは▲7.1で、前年同期（2025.1～3）と比べ38.4ポイントと大幅に低下しました。

来期（2026.4～6）の業況DIは今期（2026.1～3）と比べ7.1ポイント上昇すると予想しています。



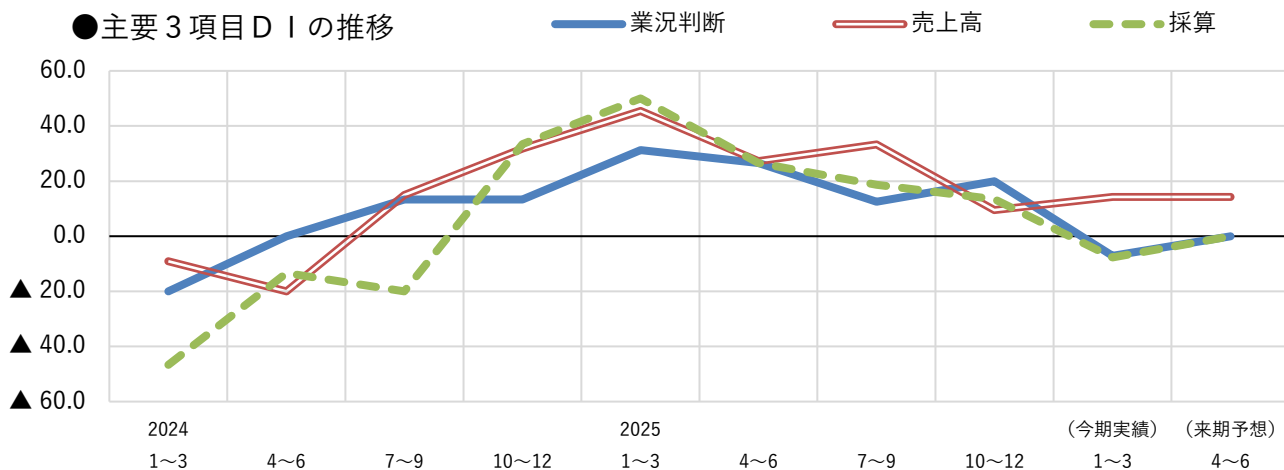
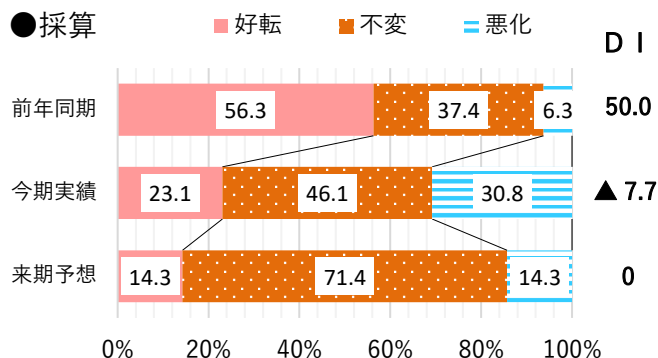
今期の売上高DIは14.3で、前年同期と比べ31.1ポイントと大幅に低下しました。

来期の売上高DIは今期と比べ変化なしと予想しています。



今期の採算DIは▲7.7で、前年同期と比べ57.7ポイントと大幅に低下しました。

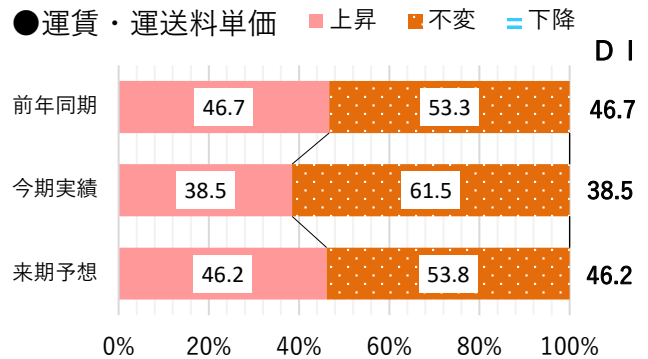
来期の採算DIは今期と比べ7.7ポイント上昇すると予想しています。



運賃・運送料単価、保管料単価

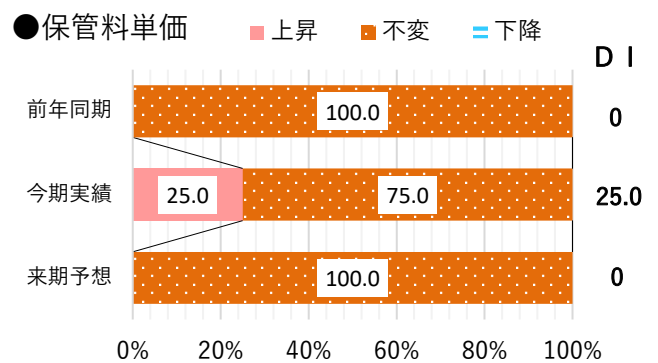
今期の運賃・運送料単価DIは38.5で、前年同期と比べ8.2ポイント低下しました。

来期の運賃・運送料単価DIは今期と比べ7.7ポイント上昇すると予想しています。



今期の保管料単価DIは25.0で、前年同期と比べ25.0ポイント上昇しました。

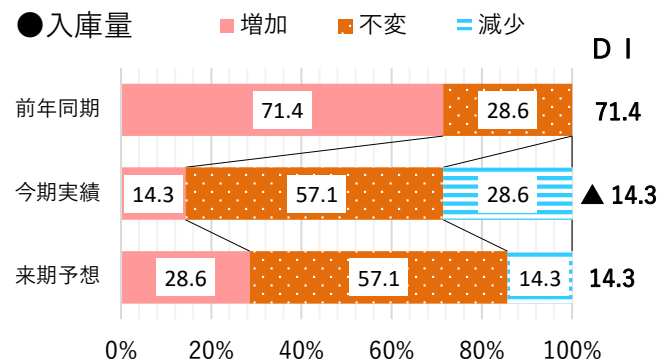
来期の保管料単価DIは今期と比べ25.0ポイント低下すると予想しています。



入庫量、出庫量、保管残高

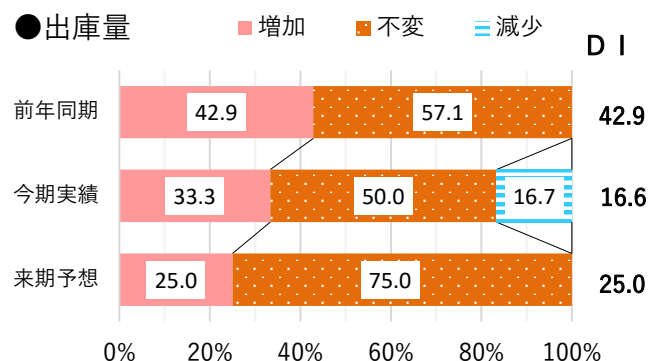
今期の入庫量DIは▲14.3で、前年同期と比べ85.7ポイントと大幅に低下しました。

来期の入庫量DIは今期と比べ28.6ポイント上昇すると予想しています。



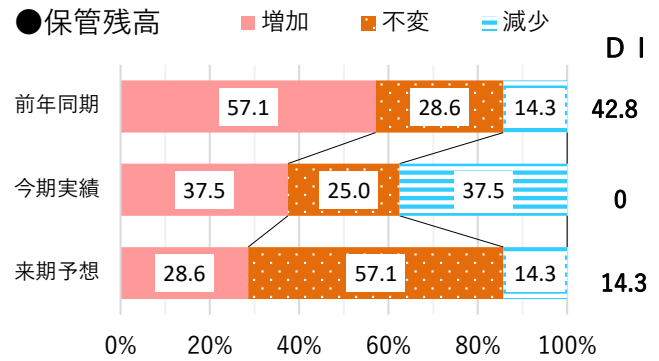
今期の出庫量DIは16.6で、前年同期と比べ26.3ポイント低下しました。

来期の出庫量DIは今期と比べ8.4ポイント上昇すると予想しています。



今期の保管残高DIは0で、前年同期と比べ42.8ポイントと大幅に低下しました。

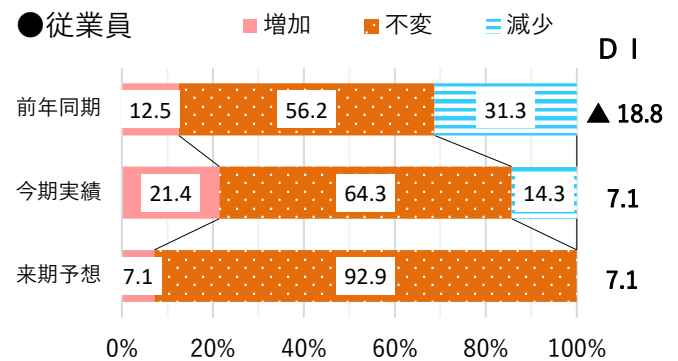
来期の保管残高DIは今期と比べ14.3ポイント上昇すると予想しています。



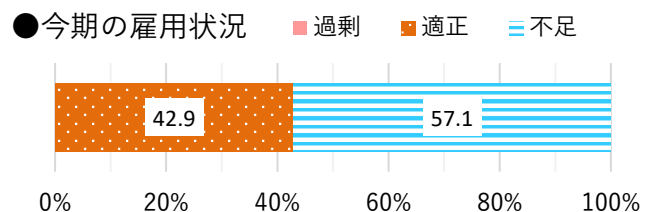
従業員、今期の雇用状況

今期の従業員DIは7.1で、前年同期と比べ25.9ポイント上昇しました。

来期の従業員DIは今期と比べ変化なしと予想しています。



今期の雇用状況について、自社の従業員数が過剰であると回答した企業はなく、適正であると回答した企業の割合は42.9%、不足していると回答した企業の割合は57.1%でした。



従業員数と雇用状況の相関関係について、最も多かったのは、「従業員数は前年同期比で変わらず、不足である」という回答で、35.7%を占めました。

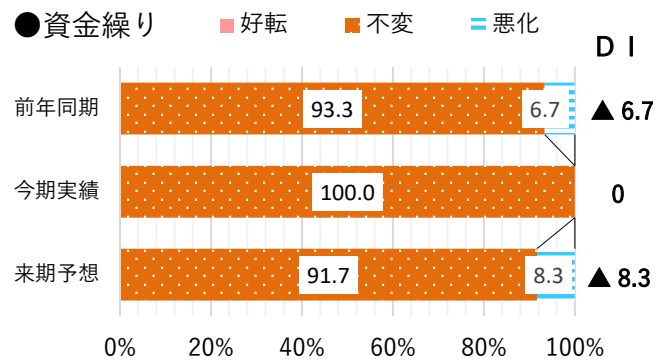
今期従業員数	今期の雇用状況	回答割合
増加した	過剰	0%
	適正	14.3%
	不足	7.1%
不変だった	過剰	0%
	適正	28.6%
	不足	35.7%
減少した	過剰	0%
	適正	0%
	不足	14.3%

※回答総数14社

資金繰り、設備投資

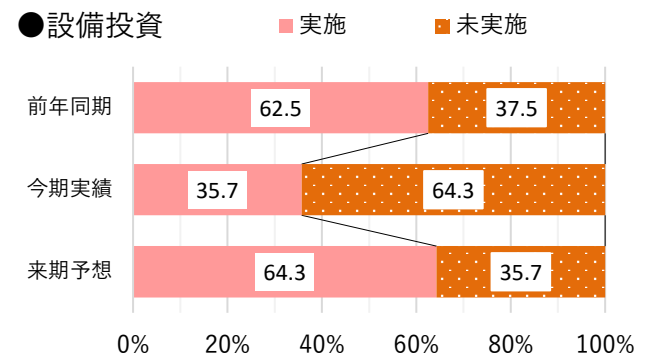
今期の資金繰りDIは0で、前年同期と比べ6.7ポイント上昇しました。

来期の資金繰りDIは今期と比べ8.3ポイント低下すると予想しています。



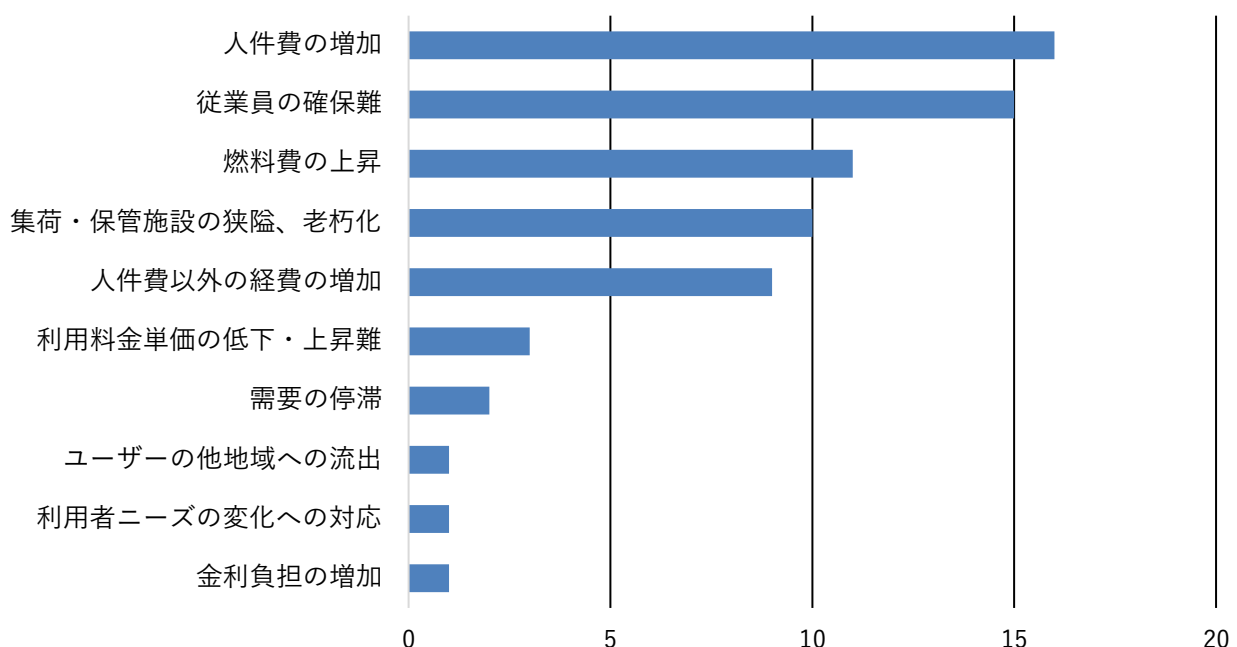
今期の設備投資は35.7%が実施と回答し、前年同期と比べ26.8%低下しました。投資内容は、1位が「輸送機材」、2位が「集荷・保管施設」でした。

来期は64.3%が設備投資を計画していると回答しています。



経営上の問題点

今期直面した経営上の問題点は、1位が「人件費の増加」、2位が「従業員の確保難」、3位が「燃料の上昇」の順となっています。



企業の声

[今期の業況について]

- 運送料単価は上がっているが利用状況が低迷している。(道路旅客運送)
- 人材不足が課題である。(道路旅客運送)
- 前年同期と比べて売上額が増加した。(道路貨物運送)
- 輸送量が若干落ちた。(道路貨物運送)
- 売上や業務単価に変動はないが、人件費などのコストが上昇し減益となった。(港湾運送)
- フェリー旅客部門はここ数年の国内旅行需要が後押しして好調だが、天候不順による農産物の生育の悪化などで貨物部門は低調に推移している。小樽市内の学生確保には苦戦しており、毎年の採用計画が難航している。(水運)
- 売上額の減少については、前年同期が好調だったので比較して減少としたが大幅な落ち込みではない。
(倉庫)
- 出庫量の増加により売上額が減少した。(倉庫業)

[来期の業況について]

- 経済環境の好転に期待する。(道路旅客運送)
- 人材の確保が困難。(道路旅客運送)
- 燃料の高騰を危惧している。(道路貨物運送)
- 売上額は不変と見込む。(道路貨物運送)
- 物価の高騰や人件費の上昇に見合う価格改定や新規受注の確保が不透明である。(港湾運送)
- 今期と同じ状況が続くと想定しているが、イラン爆撃の影響による燃油の高騰を危惧している。(水運)
- 入庫量の減少が予想され、業況の悪化が懸念される。(倉庫業)